

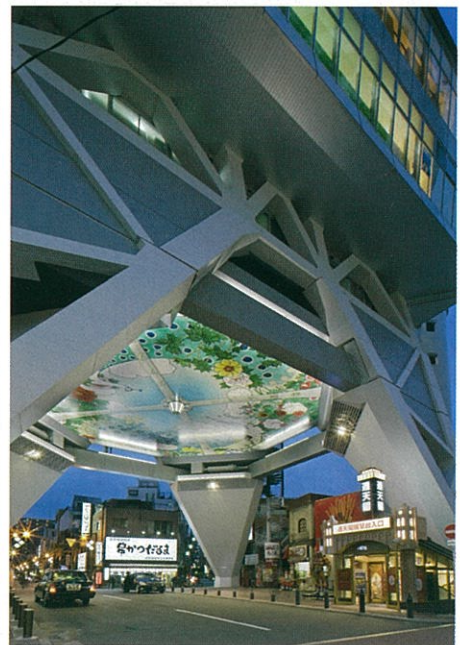
大阪のシンボル「通天閣」関連の整備に関して

通天閣観光株式会社

この賞は、これまで通天閣を愛し、支えてきてくださった皆様方とともに受賞できたものだと感謝しております。戦後の混乱の時代から、大阪人の精神的支柱として復興した現在の二代目通天閣は60年以上、初代の通天閣からですと、100年以上の間、大阪の歴史を見守ってきた共有の宝です。私も通天閣観光も、これまで平成の大改修、屋上特別展望台をはじめ、お客様にいつ来ていただいても新しい喜びと感動を与えられるよう整備運営に努めてまいりました。近年では、世界でも類を見ない鉄塔建造物中間階免震技術により、通天閣は耐震性を向上させ、将来の安全・安心の確保し、同時に通天閣とその周辺「新世界」における地域の固有性を次世代に継承していく目的で、初代通天閣にあった天井絵を新たに復刻することができました。

これからもさらなる100年に向け、大阪のシンボル通天閣を大切にしていきたいと思っております。ありがとうございました。

通天閣観光株式会社
代表取締役社長 西上 雅章



特別賞受賞理由

1956年、塔博士・内藤多仲が設計した「通天閣」は、新世界の中心部に建つ展望塔で、2007年には国の登録有形文化財になっている大阪のシンボルです。2015年行われた大規模改修工事では、通常営業を行いながら、世界初・展望塔の耐震から免震化構造への整備を行いました。(第17回日本免震構造協会賞普及賞)さらに1912年建設の初代通天閣に天井画を掲出していた中山太陽堂(現(株)クラブコスメチックス)

が天井画を復刻し、空間に彩を添えています。また、2016年には現(二代目)通天閣の60周年を記念し、LED・ネオン広告を全面的にリニューアルを行い、今回で13回を迎えるリニューアルでは、ライトアップの色を従来の6色から、より多彩な12色へと増やし、より華やかに輝く通天閣を楽しむことができるようになりました。近年、来訪する観光客の増加により、最寄駅のJR新今宮駅がよりわかりやすくする

ため「東口」から「通天閣口」に愛称制定するなど、一施設としての範疇ではない地力の活性化にも寄与しています。

以上のように常に変化し続けることで、まちづくりの再生活動にも多に関わり、かつ優れたモデルパターンとして商業的にも成功をおさめていることなど様々な功績が評価されました。